

愛西市第10期介護保険事業計画・高齢者福祉計画アンケート調査について

■調査内容

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 2,000人 【資料2-1】

要介護状態になる前の高齢者に対する「要介護度の悪化につながるリスクの発生状況」及び「要介護度の悪化に影響を与える日常生活の状況」のアンケートを実施し、地域包括ケアシステム構築のための地域特性の抽出とサービス基盤の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的としています。**(国から示された調査の必須・オプション項目をもとに、市の独自項目を加えて作成)**

《対象》 一般高齢者（要介護認定を受けていない65歳以上の方）、要支援認定者及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者

(2) 在宅介護実態調査 1,000人 【資料2-2】

介護や支援を必要とする高齢者とその主な介護者に対してアンケートを実施し、「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を含めて、介護給付サービスをはじめ各種類の「量の見込み」を設定するための基礎資料を得ることを目的としています。**(国から示された調査の必須・オプション項目をもとに、市の独自項目を加えて作成)**

《対象》 要支援認定者、要介護認定者及びその主な介護者

(3) 介護保険事業者 100事業所 【資料2-3】

サービス提供事業者に対するアンケートを実施し、介護サービス利用者と提供事業者との間に潜在化している苦情や要望などを把握することに加え、事業者や保険者など関係機関の連携のもとに、よりよいサービスの提供をめざすための基礎資料を得ることを目的としています。**(市独自で作成)**

《対象》 本市及び近隣の要支援・要介護サービスを提供している事業者

(4) 介護支援専門員 100人 【資料2-4】

介護支援専門員に対するアンケートを実施し、介護サービス利用者との間に潜在化している苦情や要望などを把握することに加え、事業者や保険者など関係機関の連携のもとに、よりよいサービスの提供をめざすための基礎資料を得ることを目的としています。**(市独自で作成)**

《対象》 本市及び近隣の介護支援専門員

■調査期間・調査方法

調査期間は令和7年12月下旬から令和8年1月中旬の予定。対象者を無作為抽出し、郵送による調査を実施。